

# (甲 西 中 ) 学校 学校関係者評価書 (前期・後期)

平成21年 1月22日 (木)  
(甲西中学校) 学校関係者評価委員会作成

## 第2回 学校関係者評価委員会

実施日：平成21年1月22日 (木) 午後3時30分～5時

会場：校長室

参加者：(学校関係者評価委員) 飯窪秀司 (委員長) 石田敏枝 今津喜代子  
深澤英夫  
(学校側) 井上政義 (校長) 鈴木正一 (教頭)  
中込幸二 (教務主任)

### I 学校側から提案された内容

- ① 経過報告
- ② 自己評価書及び生徒アンケートの説明
- ③ 前期と後期との違い
- ④ 今後の学校運営について

### II 協議された主な内容

- ① 先生方が日々仕事が忙しい中、子どもとの触れ合いのための時間確保などを常に考え、授業を大切にしている姿がうかがえるとの言葉をいただいた。
- ② 前期評価よりも先生方が校務に対して、細かい点に気を配り学校運営がなされていることが内部評価から理解できる。改善しようとする意見が積極的にあらわされている。
- ③ 道徳の授業は、1学期より充実した内容で取り組むことができた。子どもとの信頼関係を強くするためには特に大切であり、今年は校内研究会で2回の研究授業を設けたことが評価された。次年度は、関係者評価委員にも道徳授業の参観をしていただく方向で考えていく。
- ④ 最近の甲西中の子供たちの状況(学校の様子・地域で見た様子)などの意見交換をし、明るく前向きに取り組んでいる姿が見られると評価できるのではないかとまとめた。特に携帯電話の問題が話題になった。
- ⑤ 地域とのかかわりについて、前期に出された「地域の産業(甲西工業団地)を身近に感じることができる取り組みはないか今後検討していく。」点は、総合学習などでの取り組みなど21年度に考慮していければ良い。

## <学校関係者評価書>

### I 全体評価

教師の評価については非常に細かく評価ができています。生徒のアンケートについても、細かい点を見つめるための項目が作られています。生徒の評価は高い満足度がうかがえる。甲西中の生徒の評価は、他者(個人から学校全体をみて)に厳しい評価がついている。

## Ⅱ 今後の課題として意識されたいこと

地域とのかかわりについては、生徒の進路学習につながることを期待したい。甲西の子供たちを、地域で育て県内や範囲を広げていけるような取り組みをしていく。

職員評価の評価点が低い項目については、校務分掌など日ごろから取り組むべき内容は、評価の時期にかかわらず年間で、何回か評価していく。校務分掌の反省を、3月職員会議で行う。

校内研究についても、今年同様道德の授業研究会など有意義な内容で仕組み、学校関係者委員の方々にも参観いただけるように案内を出していく。

### ※特記事項

前期の反省同様に、評価が点数マジックに陥らないように気をつけること。

記載責任者（甲西中学校 学校関係者評価委員） 氏名：飯窪 秀司印